

久宝寺地区



発行者

久宝寺地区福祉委員会  
委員長 伊賀 滋  
八尾市北久宝寺2丁目1番1号  
八尾市 久宝寺出張所内  
TEL 922-2233

許麻の里

沢辺に生ふる

かきつばた

若か手妻に

水やかかさん

いつまでも 心豊かに住みたいまち久宝寺を!!  
~思いやりと工夫で みんなで乗り越えよう~



<寺内町：火の見櫓遠望>

「かきつばた57号」発行にあたって

久宝寺地区福祉委員会委員長  
久宝寺小学校区まちづくり協議会会長  
伊賀 滋

「久宝寺地区福祉委員会」と「久宝寺小学校区まちづくり協議会」の取り組みも令和3年度を迎えました。昨年年度に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がりました。国内でも数度の感染の大波が寄せられる中、過日には、大阪府などの大都市を中心に、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発せられるも、変異ウイルスによる感染拡大も重なり、未だ予断の許さない状況にあります。そして、一昨年には想像すらしなかった生活が始まり、社会活動は制約を受け、不自由で不安な毎日を強いられています。地域でも感染防止対策として、「好きやねん久宝寺まつり」や「市民スポーツフェスティバル」などの恒例の催しが実施できず、心残りです。一方、何かと制約のある中、前号で紹介の「高齢の皆さまへの励まし活動」「シトラスリボン運動」「防災勉強会」や、日常的な「見守り活動」「防犯パトロール・清掃活動」、また、本号で紹介する行事や活動などに、皆さんのアイデアと工夫を加えて取り組んでいただきました。関係部会や団体をはじめ、地域の皆さまのご協力のもと、意義ある活動になると共に、同時に、活動を通じてコロナ禍での地域活動のあり方のヒントを得ることができました。取り組みを進めていただいた皆さま、ご協力をいただいた皆さまに厚くお礼を申し上げます。本年度も我慢の続く一年になると考えられますが、感染防止の基本を守りつつ、お互いの思いやりと、皆さまの知恵と工夫で乗り越えていきたいと思っております。別紙「花みずき45号」でお知らせする令和3年度の事業計画の実施に当たっては、時々の感染防止の要請に沿って、皆さまの安全安心を第一に、都度、吟味と判断を加えて広報ポスターや回覧でお伝えいたします。本年度も皆さまのご理解とご協力をお願いします。

令和3年度の「福祉委員会」と「校区まちづくり協議会」の事業推進に当たっては、引き続き、コロナ禍の中でも必要となる「安全・安心」「環境美化」「フレイル対策」などの活動に、「新しい生活様式」を取り入れて取り組みます。皆さまの安全安心を第一に、人と人の距離をあけても、心の距離が近づくよう活動を展開してまいります。昨年度に皆さんが知恵を出し、工夫を加えて実施された行事や活動を振り返り、コロナ禍における地域活動の進め方について、ポイントをまとめました。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

（感染防止対策の基本「感染を拡大しない」）  
自分が感染しない、他の人にも感染させないといった、感染を広げないための「新しい生活様式」を基本的なルールとして徹底する。

（基本的な感染予防策）  
・マスク着用を徹底する。  
・3密（密集・密接・密閉）を避ける。  
・ソーシャルディスタンスを確保する。  
・こまめな手洗い・消毒を行う。  
・健康チェック・検温を行い、体調不良の場合は欠席する。  
・参加者を把握する。

（開催場所別のポイント）  
◇屋内の活動（会議・勉強会・打合せなど）  
・時間短縮を図る。（効率的な進行・資料の事前配布など）  
・換気を徹底する。（窓・扉の開放、CO<sub>2</sub>測定など）  
・参加人数を制限し、人と人の距離をあける。  
・一同になることを避け、二部制・分散方式を取り入れる。  
・対面を避ける。（対面の場合はパーティションを設置）  
・距離をとれない時は、マスクとフェースシールドを着用  
・共用する道具や備品は、消毒する。  
・発表など大きな声を出すときはマイクを使用する。  
など

◇野外での活動（パトロール・清掃活動・遊びや運動など）  
・参加者が多い場合は、実施時間を分けて密を避ける。  
・人が集まる場所は、密にならないよう声がけする。  
・メガホンやマイクを使用し、遠くまで声を通り易くする。  
・大きな声での会話や声援は控え、お互いに促す。  
・息が上がるような激しい運動は避ける。  
・ウオーキングなどでは、前後一列にならないようにする。  
・道具を使つての遊びや運動は、都度道具を消毒する。  
・身体接触を伴う活動やプログラムは控える。  
・適時、一時マスクをはずし、水分補給や休憩をとる。  
など

これらの感染防止対策は、地域での活動をはじめ、ご家庭、ご近所やお友達との交流の場でも、参考に取り入れていただけるのではないのでしょうか。

以下に、これらの感染防止対策を取り入れて、この半年に久宝寺地区で実施した主な行事と活動を紹介します。

♡長瀬川桜まつり  
♪ぼんぼり提灯と俳句・川柳の作品発表を実施♪

長瀬川桜まつり実行委員会 傍嶋良幸

昨年の2月、日本に新型コロナウイルス感染症が発生して以来、未だに感染収束が見通せず、また、変異したウイルスの流行が深刻化しています。

「長瀬川桜まつり」は、満開の桜のもと、食べ物や飲み物の接待で皆さまに楽しんでいただくのが中心の催しですが、今回は、「ぼんぼり提灯」と「俳句・川柳の作品発表」を実施いたしました。

本来、「長瀬川桜まつり」は、定員12名の舟で、長瀬川の川面から桜を見る子ども達に人気の舟遊覧（築留土地改良区のご協力）をはじめ、真砂第一・第二町会、旭町会、栄町会、高砂町会、本町一・二・三町会の8町会それぞれによる食べ物や飲み物の接待やクラフトなどの催しと、NPO法人藍染保存会工場の無料見学と藍染の実演、久宝寺木綿の会の手作り作品の粗品進呈、久宝寺地区自主防災組織による非常食アルファ化米の炊き出しなど、多くの団体と組織の皆さまのご協力のもとに実施しています。

近年、桜の開花時期が早くなっているようで、今年も大阪で統計を取り始めてから最も早く開花宣言が出ました。「桜まつり」も、提灯の点灯を一周間早めて3月14日から4月11日までと、密を避けるためにも、例年より一週間長く点灯することにしました。

「密を防ぎながら、静かに桜を鑑賞しましょう」とのポスターを作成し、久宝寺地区全ての広報板と八尾市観光協会をはじめ、各ご家庭のご協力を得て100カ所以上に掲示していただきました。

今年も見事に桜が咲き誇り、たくさんの方が桜と俳句・川柳を鑑賞しておられました。

制約の多い中でしたが、実施してよかったと思います。また、多くの方から、「この善哉はおいしいのになあ」「中止になって残念やなあ」と声をかけていただきました。来年は、必ず本来の「長瀬川桜まつり」を開催できるような、私たち一人ひとりが新しい生活様式を心がけるなどの感染防止に努め、コロナウイルスに打ち勝ちましょう！



♡コロナ禍の卒業生・入学生に向けて！

久宝寺小学校PTA会長 鶴 健二

コロナ禍の中、久宝寺小学校の卒業式・入学式が無事に開催することができました。昨年と同様に、地域の来賓や在校生の出席はなく、通常より時間を短縮し、感染予防策を実施しての式典となりました。

一〇名の卒業生が、新しいステージに旅立ち、84名の入学生が、新しく久宝寺小学校での生活をスタートすることになります。入学式では、少し緊張気味の子ども達に、先生方が笑顔で声をかけて、気持ちよく迎えてあげてほしい姿が印象的でした。

3月17日の卒業式、4月5日の入学式では、久宝寺地区福祉委員会の皆さんが人数を絞って、作成した横断幕を校庭で掲げて、それぞれに向けてエールを贈っていただきました。

久宝寺の皆さん、日頃は朝夕の見守り活動をはじめ、子ども達に温かい目を向けていただき、本当にありがとうございます。令和2年度は、運動会やるんるん教室などの行事が中止になり、入学式も来賓招待を取り止めるなど、例年より小学校との接点が少ない年になりました。これからも久宝寺地区には沢山の子ども達が生きていきます。何卒、今まで通りの温かい目をもつて子ども達を見守ってあげてください。

卒業生の皆さん、新しいステージでも失敗を恐れずにたくさんのごことにチャレンジしてください。入学生の皆さん、新しいお友達をたくさんつくり、学校生活を楽しくしてください。



♡お早うございませう！ 氣をつけて行きやあ！

4月のある朝、この春入学した子ども達、進学した子ども達と、地域の見守りの方々との挨拶が、マスク越しに飛び交っていました。

久宝寺地区では、小学校、中学校の通学路の要所で「見守り活動」を実施しています。

通学路の要所周辺の町会や有志の皆さんが、登下校の時間帯に子ども達に声をかけて、安全確保や街頭犯罪の防止に努めています。

すっかりマスク姿も身に付き、新しい学年、新たな友達づくりに、ちよつとした不安と大きな期待を胸には、はつとと登校する姿がありました。



♡合言葉は「楽しく遊ぶ！」待ちどほしい校庭開放

久宝寺小学校PTA 甲斐 裕子

久宝寺小学校PTAでは、例年土曜日の午前中に、自治振興委員の皆さまを中心に、ご協力をいただき、グラウンドにて「校庭開放」を実施しています。

「ボール遊び」なわとび、「てっぽう」などで、広いグラウンドで自由に子ども達が遊ぶ。昨年度は、それさえ叶わず、寂しい一年になってしまいました。2回目の非常事態宣言が明け、ようやく3月12日に「校庭開放」を再開しようとする準備を進めました。

感染防止対策として、二部制にして人数を減らし、検温や体調管理はもちろんのこと、開始前と開始後には手洗いや消毒を徹底するなど、元気な子ども達の姿に戻ってくることを楽しみにしていました。

距離を取って遊べる遊びにどんなものがあるのか。なわとびは、「大なわとび」控えて「ひとりなわとび」にして、「とべた回数記録カード」を作ろうなどとアイデアを出し合って準備をしました。

しかし、当日は生憎の雨。泣く泣く中止という残念な結果になってしまいました。子ども達の元気な姿が見られることを願って、令和3年度は、各学期に一回は開催したいと計画しています。



準備風景

♡距離は離れても、心を近づけて！

生活更生部会 小松 紀子

昨年からコロナ禍のために活動が制限されて、生活更生部会が担当する「障がい者を囲むふれあいまつり」も、2年間開催することができませんでした。

このような中、部会委員会で話し合い、民生委員の皆さんの協力をいただき、ひとり暮らしの高齢者の皆さんに、マスクの配布と、コロナに負けずみんなで励まし合う「シトラスリボン運動」に参加することにしました。

部会委員で五六〇個のリボンをつくり、久宝寺小学校PTAの皆さんの応援で、マスクとメッセージカードをセットにしました。生活更生部会は、「高齢者や障がい者にとつて暮らしやすいまちづくり」を目標に頑張ってきましたが、まだまだ活動を知らせていないのではないかと思います。これを機会に、生活更生部会の活動を少しでも理解していただくため、活動の内容をまとめたPRチラシも同封しました。

出来上がったセットは、部会委員と民生委員の皆さんで、協力・手分けをして対象のお宅を訪問し、お渡ししました。



「皆さん生き生きと暮らしやすいまちづくり」を担う部会であるように、これからも努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

◇見やすく、使いやすくになりました！

「以上、各記事の具体的内容は、地域活動ガイド「このゆびとーまれ」をご参照ください。

◇イザの時、「かまど」にへんしん！

校区まちづくり協議会の交付金を活用し、二人掛けの「かまどベンチ」が、北府住の中央公園と許麻神社藤棚横にそれぞれ一基が設置されました。

「かまどベンチ」は、レンガ固いの土台の上に座板を乗せたもので、災害時に「かまど」として活用します。

かまどベンチづくりは、ただ単に災害時に役立つ設備を作るといえるものではなく、その製作の過程を通して人のつながりを強めたり、防災訓練の場となるなど、様々な効果が期待できる取り組みです。

かまどベンチづくりは、ただ単に災害時に役立つ設備を作るといえるものではなく、その製作の過程を通して人のつながりを強めたり、防災訓練の場となるなど、様々な効果が期待できる取り組みです。



ンガ積み、八尾市消防団久宝寺分団や地域の皆さんが、力を合わせて取り組みました。そして、3月21日には、生憎の雨の中、お披露目を兼ねて「炊き出し訓練」を実施しました。今後は、防災力を高めるためのシンボルとして、また、災害時のみならず、日頃の憩いの場として、大切に活用しましょう。

また、東久宝寺一丁目公園には、一人掛けの「かまどベンチ」が、コロナ対策に関する補助金を活用し、八尾市（前）みどり課により設置されました。

◇万全のコロナ対策に備えて！

別紙「花みずき45号」の通り、校区まちづくり協議会では、第二期「わがまち推進計画（5ヶ年計画）」をもとに、「安全安心のまちづくり事業」「世代間交流事業」「久宝寺小学校区活性化事業」を二本柱に取り組みを進めています。

昨年度は、これらの事業に加えて、コロナ禍のもとで地域活動を実施する場合に、万全の感染防止対策がとれるよう、交付金を活用して対策用品の充実を図りました。

「卓上アルコール消毒噴霧器」「非接触型体温計」「CO2測定器」を購入し、町会やブロックで管理いただいています。

町会や地域での行事や活動にご活用ください。

◇見やすく、使いやすくになりました！

「校区まちづくり協議会」では、「福祉委員会」と合わせて、それぞれの行事や活動をお知らせするため、ホームページを開設しています。

トップ画面の「ブログ」では活動報告や案内など、「地域情報誌」では「花みずき」「かきつばた」のバックナンバーと「このゆびとーまれ」を、「関連団体」では各団体の活動を閲覧いただけます。

また、「ご意見・お問い合わせ」では、関連のお問い合わせやご意見、活動への参加申し込みがいただけます。

「久宝寺小学校校区まちづくり協議会」で検索するか、左下のQRコード・URLでアクセスしてください。

